

2023 年度
年 次 報 告 書

一般社団法人日本臨床心理士会

東京都文京区本郷二丁目27番8号

目 次

I. 2023 年度 事業報告書

はじめに	1
1. 委員会活動報告	
(1) 編集委員会	4
(2) 倫理委員会	4
(3) 医療保健領域委員会	5
(4) 産業・組織領域委員会	5
(5) 被害者支援委員会	6
(6) 教育領域委員会	6
(7) 私設心理相談領域委員会	7
(8) 児童福祉・子育て支援委員会	7
(9) 障害者福祉委員会	8
(10) 高齢者福祉委員会	8
(11) 司法矯正領域委員会	9
(12) 支援事業委員会	9
(13) 自死予防専門委員会	10
(14) アディクション専門委員会	10
(15) ひきこもり専門委員会	11
(16) バイオレンス・ハラスメント専門委員会	11
2. プロジェクトチーム活動報告	
(1) 災害支援プロジェクトチーム	12
(2) 研修企画検討プロジェクトチーム	12
(3) 公認心理師制度関連プロジェクトチーム	13
3. 臨床心理講座・研修会開催状況	14
4. 電話相談事業	16
5. ひきこもり家族支援事業	17
6. 雑誌、メールマガジンの発行	18
7. ホームページの利用状況	23
8. 行政機関、他団体・機関への参画	25
9. 後援名義使用承認一覧表	26
10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧	28
11. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項	
(1) 代議員会	30
(2) 理事会	30
(3) 常任理事会	32

II. 2023 年度決算報告書

貸借対照表等決算書類	33
------------------	----

役員名簿	44
------------	----

代議員名簿	45
-------------	----

I. 2023 年度事業報告書

はじめに

当会は 2023 年度においてはコロナ禍の状況の落ち着きを視野に入れつつ、人々への心理支援の充実と臨床心理士の資質向上を旨として活動し、併せて臨床心理士の職能の存在意義を高めるよう努めた。そのために必要な全国組織としての機能を維持するため、これまで同様に全国各都道府県団体会員との連携を図った。また、会員の約 9 割が公認心理師資格を取得している状況を踏まえ、わが国の心理支援活動全体の質の向上を図る観点からも、公益社団法人日本公認心理師協会（以下、日心協）と相互に協力する形で連携に努めた。なお 2024 年 1 月 1 日に発生した能登半島地震への支援活動についても日心協と連携し、情報共有等に努めた。以下に、第 5 期前期 1 年目の 2023 年度の当会事業の取り組みを報告する。

● 主な取り組み

- ・会員の資質の更なる向上への支援を継続した。そのため、各地から参加しやすく、会員からの要望も大きかったオンライン研修会の開催を継続した。
- ・当会のこれまでの事業及び各委員会、プロジェクトチーム活動を継続した。
- ・新型コロナウイルス感染症対応の必要性に鑑み、新型コロナこころの健康相談電話を当会事業である定例電話相談に組み入れた。
- ・2021 年 1 月に生じた紛争に対応する避難者及びその支援者向けの相談電話を継続実施した。
- ・法テラスの靈感商法等対応ダイヤルに協力した。
- ・令和 5 年度いじめ対策・不登校支援等推進事業に応募して受託した。
- ・2021 年度より実施しているひきこもり家族会支援は 3 年目となるが今年度は当会独自事業として取り組んだ。
- ・会員にとって当会に所属することの意義が引き続き認識されるよう、諸情報の提供、研修の充実、社会貢献活動の継続、当会会員の倫理性の維持向上に資する活動、団体会員が主催する市民の集いへの支援を行った。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として実施した研修会や諸会議のオンライン開催の利点と課題を認識し、諸活動を通じて今後のあり方について検討を続け、一部会議の対面開催の準備にも取り組んだ。

- ・SNS上に展開する情報発信や拡散に関する臨床心理士全体への影響について、対応に関する検討に着手した。

● 災害支援

- ・必要に応じて災害支援本部を設置し、関連諸団体との連携のもと支援活動を行うこととしてきたが、2024年1月発災の能登半島地震においては支援本部を設置し、スクールカウンセラー派遣を行っている。
- ・能登半島地震により被災した地域の団体会員への支援及び支援に取り組んだ中部ブロックの活動への支援を行っている。
- ・災害支援心理士(CPAT)の活動体制を具体的に検討することとしている。
- ・災害支援活動のための基金として、年度収支差額の一定割合の積み立てを実施することとしているが、当年度は一定額が確保されたこと及びひきこもり家族会支援予算の確保のため、これをいったん保留とした。なお次年度よりは復活の予定としている。

● 行政、外部団体等の要請への対応

- ・法務省：社会を明るくする運動、人権擁護相談支援、法テラス「靈感商法等対応ダイヤル」に協力した。
- ・文部科学省：スクールカウンセラー制度関連委員会、発達障害ネットワーク会議、海外の日本人学校への支援、委託事業としての調査研究の実施、能登半島地震被災地へのSC緊急派遣要請に協力した。
- ・こども家庭庁：青少年の非行・被害防止全国強化月間、子供の性被害防止、児童虐待防止関連に協力した。
- ・厚生労働省：健やか親子21、ひきこもり支援者支援に関する検討に協力した。
- ・防衛省及びその他行政、自治体等の求人募集に協力した。
- ・警察庁：犯罪被害者支援等に協力した。
- ・裁判所及びその他行政、自治体等の取り組みに協力した。
- ・公益財団法人国際医療技術財団(JIMTEF)災害医療委員会に引き続き参加し、災害医療研修の実施に協力した。
- ・一般社団法人日本障害者協議会政策委員会に引き続き委員を選出した。
- ・一般社団法人日本発達障害ネットワークに引き続き理事等を選出し、活動に参加した。

- ・チーム医療推進協議会に加盟し連携した。
- ・特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会の活動に協力した。
- ・その他、公益社団法人日本医師会を事務局とする被災者健康支援連絡協議会、一般社団法人東京経営者協会などの関連諸会議に参画した。

● 事務局担当事業の実施及び課題への対応

- ・ホームページの改修を行い、事務の効率化を図った。
- ・動向調査（第9回）を今回からオンラインで実施した。
- ・代議員会、理事会、常任理事会、全国団体会員会長懇談会、諸領域担当者会議、各委員会・プロジェクトチーム会議開催の事務を行った。
- ・会議はオンライン開催を充実する等、更なる効率の向上と諸課題の解決に努めつつ、対面会議への要望にも対応すべく検討した。
- ・会員へのメールマガジンを活用した広報を継続した。
- ・各種研修会等の実施に関する事務及びオンライン開催の円滑な実施に努めた。
- ・想定される災害における取り組みに向けて、引き続き災害支援本部業務を担当する体制を維持した。
- ・日心協事務局との相互協力として、能登半島地震支援、一部の研修会の合同開催、こころの健康相談統一ダイヤル、ウクライナ避難者支援の事業を行った。
- ・会員の利便性向上のため、年会費等のクレジット払いを導入した。

なお、各委員会及びプロジェクトチームの活動報告は以下のとおりである。

【会員の動向】

2022 年度末会員数	22,178 名		
2023 年度入会者	669 名	退会者	437 名
2023 年度末会員数	22,410 名		

1. 委員会活動報告

(1) 編集委員会

メンバー	氏名	2023 年度活動報告
委員長	江口 昌克	1. 委員会を6回開催した。(7月30日、9月23日、11月23日、1月21日、2月11日) 2. 雑誌95号を2022年7月31日に刊行し、8月初旬に会員等に発送した。 3. 雑誌96号を2024年1月31日に刊行し、2月中旬に会員等に発送した。 4. 社会のニーズに応えるため時機を得たテーマを設定・周知した。 5. 当会に所属する意義、メリット(保険)に関する会員サポート情報等を周知した。 6. 当会雑誌へのアクセシビリティの合理的配慮の必要性について検討を行った。 7. 原稿依頼の手続き、及び編集を円滑にするため投稿ガイドラインを再整備した。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	北島 正人	
委員	加藤 真樹子	
委員	小松 周平	
委員	前川 伸晃	
協力委員	小林 千諭	
事務局	松浦 賢一	
事務局	高田 洋之	

(2) 倫理委員会

メンバー	氏名	2023 年度活動報告
委員長	宇田川 一夫	1. 会員の倫理意識の向上のための啓発活動を行う。 (1) 全国の会員の倫理能力の向上と「倫理ガイドライン」の理解を深めるため研修会において「会員向け倫理ワークショップ」を開催した。 (2) 今年度は、倫理に関する臨床心理講座を開催しなかった。 (3) 団体会員に対し、倫理能力の向上と「倫理ガイドライン」の理解を深めるため、コロナ禍の状況を見て、研修会等の講師を2回派遣した。 2. 倫理をめぐる相談や苦情及び倫理違反への対応を行う。委員会を4月、6月、8月、10月、2024年1月、3月に開催した。 3. 内外の機関・組織と連携する。 (1) 関連他団体の倫理委員会と連携して対応する。 (2) 倫理問題で当会と他の委員会及び他機関との連携を図る。 4. 倫理規程・綱領の改訂及び倫理ガイドライン、対応指針の見直しを継続的に行う。特にコロナ禍での Web 活用が進んだ今日、ウェブ活用と倫理問題に関して具体的に検討を進めていった。
担当役員	杉江 征	
委員	非公表	
事務局	水谷 孝之	
事務局	法眼 裕子	

(3) 医療保健領域委員会

メンバー	氏名	2023 年度活動報告
委員長	野村 れいか	1. 委員会を4回開催（6月6日（火）、8月28日（月）、2024年1月8日（月）、3月27日（水））した。 2. 前期からの活動（チーム医療関連の活動）を継続した。 3. 第30回医療保健領域研修会を2023年9月17日（日）にオンラインにて開催した。 4. 第14回団体会員医療保健領域担当者会議は2024年4月に実施することとなり、本年度は実施しなかった。 5. 当会雑誌・ホームページ等により、会員にとって有益な医療保健領域の情報を発信した。 6. チーム医療関連で、引き続き他医療関連団体との有益な連携、協力体制の強化に努めた。 7. 他の委員会と合同の企画立案による研修は実施できなかった。 8. 臨床心理講座は本年度実施しなかった。 9. 日心協と連携した活動を今年度は実施できなかった。
担当役員	花村 温子	
委員	上島 奈菜子	
委員	江口 聡	
委員	額田 敦史	
委員	渡邊 裕美	

(4) 産業・組織領域委員会

メンバー	氏名	2023 年度活動報告
委員長	山喜 高秀	1. 委員会をオンライン会議にて年間3回開催した（2023年8月18日、10月1日、2024年1月31日）。その他、事業案に対する小委員会を個別に開催し、メール審議で委員全員にて確認を行った。 2. 2024年3月10日に第22回産業・組織心理臨床専門研修会を実施した。 3. 各団体会員への講師派遣について、オンラインと対面にて6回実施した。 4. 団体会員担当者研修会を2023年10月1日に開催した。 5. 関連団体に協力した。（一社）東京経営者協会へ講師派遣および事業協力（適宜）、「こころの耳」委員会へ参加した。 6. 新規取得者のための基礎研修会は実施されなかった。 7. 日本公認心理師協会主催のストレスチェック実施者研修会の実施に協力した。 8. 雑誌第95号、第96号へ寄稿した。
担当役員	江口 昌克	
副委員長	坊 隆史	
副委員長	山本 登	
委員	春藤 行敏	
委員	高村 裕子	
委員	楠 無我	
委員	後藤 充	
協力委員	坂井 一史	
協力委員	馬ノ段 梨乃	
協力委員	金山 麻李	

(5) 被害者支援委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	富永 良喜	<p>1. 委員会を5月、9月、12月、1月に年4回開催。</p> <p>2. 被害者支援研修会 2023年9月10日 テーマ：子どもの被害と対応の実際 午前；講師；仲真紀子氏（北海道大学・理化学研究所）、田中晶子氏（摂南大学）；司法面接の講義とワーク 午後；学校臨床現場、児童相談所、民間被害者支援団体における実践と課題についての実践報告 (1) 学校臨床現場における実践と課題；久世大介氏（福岡県教育庁北筑後教育事務所） (2) 児童相談所における実践と課題；浦本舞子氏（北海道函館児童相談所） (3) 被害者支援機関における子どもの支援と刑事手続；齋藤梓氏（上智大学・被害者支援都民センター） 討議</p> <p>3. 全国都道府県被害者支援担当理事会議 2024年3月17日 WEB 開催</p>
担当役員	花村 温子	
副委員長	西脇 喜恵子	
委員	齋藤 梓	
委員	高田 紗英子	
委員	樋口 純一郎	
委員	藤代 富広	
委員	森田 ひろみ	

(6) 教育領域委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	高田 晃	<p>1. 委員会を10/14 オンライン開催。委託事業関連会議を6/22, 12/7, 2/1 オンライン開催。</p> <p>2. 学校臨床心理士ワーキンググループ活動に協力 ・第26回学校臨床心理士全国研修会(8/7)、国立京都国際会館、「学校臨床心理士と学校教育とのさらなる協働を目指して」</p> <p>3. 各都道府県団体会員教育領域担当者会議（オンライン）（10/14）。</p> <p>4. 文部科学省 2022年度いじめ対策・不登校支援等推進事業「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究」の報告。</p> <p>5. 文部科学省主催会議への委員出席等 ・文部科学省「中央教育審議会初等中等教育分科会」、「教育研究開発企画評価会議」、「教職員のメンタルヘルス対策に関する調査研究事業推進委員会」年間を通じて委員出席（石川）。 ・文科省「児童生徒の自殺予防に関する調査研究協力者会議」11/24, 12/15, 3/15 出席。普及啓発協議会の講師 7/28, 8/3（窪田）。 ・文部科学省「いじめ防止対策協議会」（オンライン）に 8/9, 10/20, 2/1, 3/29 出席（高田）。</p> <p>6. 文部科学省から受託した「2023年度SC及びSSWの常勤化に向けた調査研究」を年間を通して実施し、報告を作成し、文部科学省に提出した。今後各県士会にも報告データを配信予定。</p>
担当役員	杉江 征	
副委員長	石川 悦子	
委員	窪田 由紀	
委員	吉村 隆之	
委員	平田 祐太郎	
委員	下田 芳幸	
協力委員	元永 拓郎	
協力委員	中谷 敬明	
協力委員	高野 久美子	

(7) 私設心理相談領域委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	川畑 直人	1. 2023年12月22日の第5期前期第5回の理事会にて新委員長が選任され、その後、新委員の候補者の選定を行った。 2. 第5期第6回理事会にて、新委員が選任されたので、すみやかに委員会を開催する。
担当役員	徳丸 享	
委員	村上 雅彦	
委員	人見 健太郎	
委員	黒沢 幸子	
委員	小林 菜穂美	
委員	田中 ひな子	

(8) 児童福祉・子育て支援委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	平井 正三	1. 委員会を4回開催した。第1回:6月5日、第2回10月8日、第3回(第5期前期委員会第1回)2024年1月8日、第4回(第2回)3月31日開催。 2. 2023年8月19日に団体会員担当者研修会を開催した。 3. 市区町村に勤務する臨床心理士を支援する臨床心理講座を企画し、2023年7月2日に開催した。 4. 2022年度に実施した児童福祉施設心理職連続研修会に関する報告書作成の準備を行った。 5. 臨床心理士子育て支援合同委員会に協力した。
担当役員	杉江 征	
副委員長	青木 紀久代	
委員	中垣 真通	
委員	西田 佐希子	
委員	綱島 庸祐	
委員	中沼 早苗	
委員	茂 晃久	
協力委員	ガヴィニオ 重利子	
協力委員	吉沢 伸一	

(9) 障害者福祉委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	花村 温子	1. 委員会を（10月31日、2024年1年31日）開催し、普段はメーリングリストで随時、意見交換を行った。 2. 障害の理解と支援に関する総合研修会を2回（計4研修）オンラインで開催した。 3. 特定非営利活動法人日本障害者協議会の総会、政策委員会に出席、協力した。 4. 災害発生時の障害者支援の可能性については、検討しきれなかった。
担当役員	徳丸 享	
副委員長	中津 大介	
委員	齊藤 敏子	
委員	与那城 郁子	
委員	松井 健太	
委員	樋口 亜瑞佐	
委員	上田 将史	

(10) 高齢者福祉委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	小林 哲郎	1. 委員会を3回開催した。 2. 高齢者支援領域で活動する会員向けに、高齢者心理臨床の実践や研究に関する知識や技術向上の獲得を目的とした研修機会を提供した。本年度はオンラインにおける高齢者支援研修会を1回（2023年6月3日）開催した。 3. 団体会員が主催する研修会への講師派遣について、理事会の方針に合わせながら、積極的に可能性を検討した。
担当役員	野村 れいか	
副委員長	桑田 直弥	
委員	大庭 輝	
委員	花輪 祐司	
委員	畦地 良平	
委員	川西 智也	
委員	板澤 有幾	
協力委員	樋山 雅美	

(11) 司法矯正領域委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	金子 周平	<p>1. 委員会はオンライン形式で6回開催した。</p> <p>2. 第14回司法矯正領域研修会は、オンライン形式で9月30日(土)10:00～16:00に開催した。「非行臨床における多機関・多職種連携ー心理職の役割を考えるー」のテーマで、対象者の地域支援に関する熊上崇氏の講演と、5名の話題提供者による学校、警察、児童相談所、少年鑑別所、家庭裁判所の視点からのパネルディスカッションを行なった。また、都道府県団体会員司法矯正領域担当者会議をオンライン形式で8月27日(日)13:00～16:00に開催した。子の引き渡し強制執行に関する報告(沖縄県)がなされた。その他、東京都及び福岡県の独自の取組も紹介された。都道府県の現状と課題に関する情報交換を行なった。</p> <p>3. 講師派遣事業は、9県の団体会員からの申請を受け、各研修会にオンラインで講師を派遣した。</p> <p>4. 雑誌95号に、「医療観察法成立20周年を迎えて」と題して、当制度の目的と他職種医療チームの紹介を行った。96号には「司法矯正領域の今後の活動を充実させるために」(担当者会議報告)と「非行臨床における多機関・多職種連携」(第14回研修会報告)を寄稿した。</p>
担当役員	徳丸 享	
副委員長	遊間 千秋	
委員	里見 聡	
委員	植杉 永美子	
委員	田高 誠	
委員	野村 照幸	
委員	吉田 里日	
協力委員	里見 有功	

(12) 支援事業委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	徳丸 享	<p>1. 委員会を4回開催した。</p> <p>2. 「ひきこもり家族支援セミナー・相談会」は5月20日と11月12日の2回開催した。この活動ではひきこもり専門委員会の協力を得た。</p> <p>3. 「ひきこもり家族グループセミナー」は6回を対面で開催した。</p> <p>4. 「ひきこもり支援臨床心理士の集い」は、11月26日にオンライン開催した。</p> <p>5. 定例電話相談事業は、月～金曜日の夜間(19時～21時)および金曜日午前(9時～12時)に実施。</p> <p>6. SNS相談研修会は、臨床心理講座として1回開催した。</p> <p>7. ひきこもり家族会支援事業は、助成金が取れず、当会事業として継続中、11の団体会員が参加した。</p> <p>8. ウクライナの避難者支援4か国語電話相談は、日本財団の助成を受けて、実施期間を延長して3月まで実施。</p> <p>9. 日心協と連携してウクライナ人メンタルヘルス調査に協力した。</p> <p>10. 自死予防では統一ダイヤル、靈感商法等対応ダイヤルでは法テラスに協力している。</p> <p>11. 文化庁の依頼により、宗教2世の団体の代表者と意見交換を行った。</p>
担当役員	杉江 征	
委員	水谷 孝之	
委員	井利 由利	
委員	奥村 茉莉子	
委員	齋藤 ユリ	
委員	松丸 未来	
委員	河田 幸子	
協力委員	法眼 裕子	

(13) 自死予防専門委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	倉光 修	1. 委員会を Web 会議システムにより、4 回開催した。 2. 2023 年度は 9 月の自殺予防週間に合わせて、メールマガジンで情報を周知するとともに、自死予防研修会を開催した。 3. 関係官庁や団体などの関係会議に出席し、自死に関する内外の動向を把握し、委員会内で情報共有した。 4. 第 10 回自死予防研修会を 2023 年 9 月 9 日にオンラインで開催し、自死という人間の尊厳に関わるテーマに臨床心理士がいかに取り組めるかについて議論を深めた。 5. 臨床心理講座は、2024 年 3 月までに実施することができなかったため、次年度検討課題として、引き続き検討する。 6. 2023 年度は団体会員から研修会等の講師派遣の要請はなかった。
担当役員	杉江 征	
副委員長	大塚 尚	
委員	高井 美智子	
委員	巽 葉子	
委員	三宅 美樹	
委員	藤居 尚子	

(14) アディクション専門委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	信田 さよ子	1. 委員会の開催は、2023 年 6 月 7 日、2024 年 1 月 17 日、3 月 22 日の 3 回となった。（日本臨床心理士会役員改選に伴い、第 4 期後期委員の任期が終了したが、第 5 期前期委員会発足が遅れたため。） 2. 前委員を中心に、2023 年 7 月 30 日、第 11 回アディクション心理臨床研修会を開催した。 3. 日本臨床心理士会雑誌 96 号に当委員会の定例研修会報告を寄稿した。（95 号は寄稿見送り） 4. 関連団体である日本公認心理師協会アディクション臨床委員会と連携し、関連諸学会である日本公認心理師協会学術集会、日本アルコール関連問題学会、心理臨床学会等に関与した。 5. 第 2 回アディクション担当者研修会または会議は、諸事情により開催できなかった。 6. アディクションに関する国の政策動向や診療報酬、オンライン自助グループなどについて情報収集を行ったが、厚労省への要望などのソーシャルアクションには至らなかった。
担当役員	花村 温子	
副委員長	奥田 由子	
委員	厚坊 浩史	
委員	荻野 基介	
委員	齋藤 栄喜	
協力委員	平野 学	

(15) ひきこもり専門委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	平野 学	1. 第1回10/23、第2回12/11、第3回2/1、第4回3/20、全てオンラインにて開催した。 2. 秋の研修会は開催できなかった。 3. オンラインで7/29に委員2名他で「オープンダイアログ入門」を行なった。また2/23に「ひきこもる生活を支える環境づくり」が開催された。 4. オンラインで3/20に第4回担当者研修会を開催した。 5. 特に着手できなかったが、ガイドの微修正は実施し、ホームページへの再アップを行なった。 6. エントリーしていた助成事業が叶わなかったが、日本士会の支援(予算措置)により、全国で11カ所の団体会員においてKHJ関連の家族会での支援に携わることとなり、多くの委員が協力した。 7. 支援事業委員会に協力する形で、2回程、家族セミナー並びにその後の相談会に委員数名が参加した。 8. KHJの全国大会等に参加し、その結果をメーリングリスト等に報告する形で、情報の共有をはかった。 9. 雑誌には毎号寄稿する形で会員への情報周知に努めた。
担当役員	江口 昌克	
副委員長	齋藤 暢一朗	
委員	境 泉洋	
委員	山下 和彦	
委員	野中 俊介	
委員	土居 和子	
委員	福井 里江	
協力委員	板東 充彦	
協力委員	池 雅之	

(16) バイオレンス・ハラスメント専門委員会

メンバー	氏名	2023年度活動報告
委員長	岩倉 拓	1. 委員会を4回開催。 2. 当委員会の研修会の3、4回を開催。 10月29日 第3回研修会「加害者臨床①～日本における実践と課題～」 12月24日 第4回研修会「加害者臨床②～カナダにおける実践と課題～」 3. ハラスメントのガイドラインの策定作業をすすめ、理事会へ提出した。 「暴力・ハラスメントの防止に関する声明(案)」
担当役員	奥村 茉莉子	
委員	信田 さよ子	
委員	古賀 絵子	
委員	佐藤 紀代子	
委員	高橋 哲	
委員	山内 浩美	
委員	佐々木 浩介	
協力委員	岡田 裕子	
協力委員	西井 開	

2. プロジェクトチーム活動報告

(1) 災害支援プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2023年度活動報告
代表	奥村 茉莉子	1. 会議は合同会議として5回実施した。 2. 研修会を両団体お会員向けに開催した。 北海道・東北ブロック研修会を支援した。 3. 講師紹介は北海道・東北ブロック、中国・四国ブロックに実施した。 4. 災害支援ブロックの活動について要請に応じて支援した（北海道・東北ブロック研修、中部ブロック活動への Teams 提供）。ブロック世話人団体会議は実施しなかった。ブロック活動支援の手順整備は今後の課題。 5. 能登半島地震に際し、文科省よりの SC 派遣の協力依頼に対応し、諸会議に参画、石川県士会の活動に支援。 6. CPAT 登録者との情報共有及び研修を検討し、次年度実施予定。 7. 記録様式の検討は能登半島地震における実践をもとに検討を続ける。 8. JIMTEF 研修への会員参加については継続している。 9. 能登半島地震への支援体制を組み、年度を超えても継続の見込み。
担当役員	江口 昌克	
委員	池田 美樹	
委員	池 雅之	
委員	小俣 和義	
委員	鈴木 正貴	
委員	樋口 純一郎	
協力委員	小林 哲郎	
協力委員	杉江 征	
協力委員	金子 周平	

(2) 研修企画検討プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2023年度活動報告
代表	杉江 征	1. 研修会のテーマや臨床心理講座の名称や内容および講座の重複等の検討について 年度末に委員会を開き、2023年度に開かれた研修を概観し必要な検討を行った。本PT会議は2回開催した。 2. 第2回研修企画検討PT研修会『オンラインでおこなう事例検討を考える』を開催した。内容はオンラインでのスーパービジョンや事例検討、その時の倫理などについてであった。 3. HPにある「スーパービジョンの仲介」については、この制度の趣旨など確認し、この事業のあり方などについて意見交換を行った。生涯研修としての在り方やスーパービジョンの実施の仕方や学び方など、引き続き検討していくことになった。 4. 地方開催の研修会の検討及び会員にとって必須となる内容の講座・研修について 臨床心理士資格更新のための研修ニーズもあり、オンライン研修の意義などについて確認した。今後必要なことがあれば更に検討していくこととなった。
担当役員	野村 れいか	
委員	藤澤 美穂	
委員	奥村 茉莉子	
委員	宮崎 昭	
委員	伊藤 宗親	
委員	磯邊 聡	

(3) 公認心理師制度関連プロジェクトチーム

メンバー	氏名	2023年度活動報告
代表	野島 一彦	1. 会議を5回開催した。 2. 臨床心理士と公認心理師を取り巻く様々な状況についての情報収集と分析を行い、それらを当会雑誌等で会員に報告した。 3. 日心協を引き続きサポートしていくとともに、棲み分けも考えながら連携を深めた。 4. 臨床心理士と公認心理師の質の向上のために、他団体との連携も視野に入れて生涯研修システムを構築するよう、さらに検討を継続した。 5. 臨床心理士と公認心理師の雇用を増やすような職域拡大について、情報交換を行いながら、さらに検討を継続した。 6. 日心協の「専門認定制度」の推進のために協力した。 7. 政治連盟等について、情報を収集しつつ、検討を継続した。
担当役員	奥村 茉莉子	
副代表	平野 学	
委員	淵上 奈緒子	
委員	矢島 潤平	
委員	舘野 一宏	
協力委員	下山 晴彦	
協力委員	元永 拓郎	

3. 臨床心理講座・研修会開催状況

(1) 臨床心理講座

日 程	講 座	講 師	参加者
4月23日(日)	心理教育の理論と実践を学ぶ	宮崎圭子	98
5月13日(土)	子どもの認知行動療法【初級編】	松丸未来	165
6月17日(土)	ゲーム障害・インターネット依存の心理臨床	三原聡子	193
6月18日(日)	SNS相談の実際と課題	杉原保史、宮田智基	132
7月2日(日)	地域における連携のあり方を考える	児童福祉・子育て支援委員会	74
7月9日(日)	ADHDの最新情報と自己実現のための支援	高山恵子	187
7月15日(土)	スーパービジョンの実際と課題	岩壁茂	74
7月29日(土)	オープンダイアログ入門	福井里江、岡本和子 三ツ井直子、 村井美和子	49
8月5日(土)	事例で学ぶひきこもり支援	井利由利	112
8月26日(土)	幼稚園・保育園における特別支援教育	松村裕美	84
10月28日(土)	日本版 WISC-V 知能検査の活用—実践編—	大六一志	473
11月11日(土)	ヤングケアラーを含む不登校の理解と支援	高山恵子	153
12月2日(土)	小学校における特別支援教育	松村裕美	37
2月3日(土)	思春期における特別支援教育	松村裕美	76
2月11日(日)	カルト問題と宗教2世、その支援のために	平野 学、坂本真一 秋本弘毅	97
2月17日(土)	学齢期の発達障害への理解と具体的な支援	黒澤礼子	274
2月18日(日)	マインド・コントロールの心理臨床入門	西田公昭	110
2月23日(金・祝)	ひきこもる生活を支える環境づくり —本人、家族、支援者への支援—	境 泉洋、久保 浩明	66
2月25日(日)	日本版 WISC-V 知能検査の活用—紹介編—	大六 一志	479
3月3日(日)	BEG(ベイシック・エンカウンターグループ) について考える	下田節夫	29
		合計 20 講座	2,962 名

(2022年度 16講座 2,066名)

(2) 研修会

日 程	研 修 会	参加者
6月3日(土)	第22回高齢者支援研修会	289
6月24日(土)	第16回障害者福祉委員会研修会(1)	117
7月1日(土)		
7月30日(日)	第11回アディクション心理臨床研修会	433
9月9日(土)	第10回自死予防研修会	94
9月10日(日)	第25回被害者支援研修会	94
9月17日(日)	第30回医療保健領域研修会	52
9月30日(土)	第14回司法矯正領域研修会	184
10月21日(土)	第16回障害者福祉委員会研修会(2)	122
10月22日(日)		
10月29日(日)	第3回バイオレンス・ハラスメント専門委員会研修会	263
11月18日(土)	令和5年度 災害支援委員会 合同研修会	43
11月23日(木・祝)	第2回研修企画検討PT研修会	57
12月24日(日)	第4回バイオレンス・ハラスメント専門委員会研修会	175
2月10日(土)	第11回倫理委員会研修会	54
3月10日(日)	第21回産業・組織心理臨床専門研修会	185
	合計 14 研修会	2,162 名

(2022年度 18 研修会 3,041 名)

(3) 団体会員担当者会議・研修会

日 程	会 議 ・ 研 修 会 名	参加者
8月19日(土)	児童福祉担当者研修会	42
8月27日(日)	司法矯正領域担当者会議	42
9月23日(土・祝)	全国災害支援合同担当者会議	52
10月1日(日)	産業・組織領域担当者研修会	44
10月14日(土)	教育領域担当者会議	45
3月17日(日)	被害者支援担当者会議	45
3月20日(水・祝)	ひきこもり担当者研修会	50

4. 電話相談事業

○ 定例電話相談

【実施日時】

午前（9：00～12：00）：金曜日

夜間（19：00～21：00）：月曜日～金曜日

【月別受電件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
午前	46	35	51	35	27	43	
夜間	136	147	133	146	130	132	
計	182	182	184	181	157	175	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2023年度計
午前	42	30	40	35	33	46	463
夜間	124	133	116	127	119	142	1,585
計	166	163	156	162	152	188	2,048
						月平均	171

【参考】2022年度 1,676件（月平均：140件）

○ 電話相談員オンラインSV研修会

1. 日時：2024年3月23日（土）18時30分～20時15分

2. 場所：オンライン（zoom）

3. 対象者：電話相談員として登録している者

4. 講師：徳丸 享（副会長・立正大学）

5. ひきこもり家族支援事業

(1) ひきこもり家族会支援

前年度に引き続き、KHJ（全国ひきこもり家族会連合会）からの協力依頼を受けて、北海道、山形、福島、東京、静岡、大阪、広島、高知、福岡、宮崎、沖縄の11団体会員の協力を得て、各地域のひきこもり家族会への支援を実施した。

(2) ひきこもり家族支援セミナー・相談会

○ 第10回

開催日：2023年5月20日（土）

次 第：13：00～14：45 講演会「ひきこもりの“回復”・理解・関わり方」

講師：板東 充彦（ひきこもり専門委員会委員
跡見学園女子大学）

15：00～16：30 個別相談会

○ 第11回

開催日：2023年11月12日（日）

次 第：13：00～14：45 講演会「ひきこもりと共に歩む」

講師：喜多見 学（株式会社こうゆう執行役員
NPO 法人子育て応援隊むぎぐみ代表）

15：00～16：30 個別相談会

(3) ひきこもり家族グループ

第1回	2023年5月29日（月）
第2回	2023年7月31日（月）
第3回	2023年9月25日（月）
第4回	2023年11月27日（月）
第5回	2024年1月29日（月）
第6回	2024年4月1日（月）

次第：ミニ・レクチャー

グループ懇談

6. 雑誌、メールマガジンの発行

(1) 雑誌

号数	発行日	主要掲載記事
95号	2023年7月31日	特集—ヤングケアラーへの心理支援 ヤングケアラー—家族ケアを前提とした制度を見直す ヤングケアラーに対する心理的支援にむけて 社会のニーズと心理臨床 国境なき医師団の心理士について 諸領域の動向と諸課題の取り組み 東西南北—47都道府県団体会員めぐり 宮城県臨床心理士会 埼玉県公認心理師協会 大阪府臨床心理士会 (一社) 佐賀県公認心理師協会
96号	2024年1月31日	特集—学校に來ない子どもへの心理支援 スクールカウンセラーから見た不登校急増の背景 学校システムへの介入と心理支援 こども家庭庁が進める「こどもの居場所づくり」とは 社会のニーズと心理臨床 カルト問題と宗教2世、臨床心理職としての支援をめぐって 諸領域の動向と諸課題の取り組み 東西南北—47都道府県団体会員めぐり 群馬県公認心理師協会 富山県公認心理師協会 兵庫県臨床心理士会 大分県臨床心理士会

(2) メールマガジン

No.	発行日	主要掲載記事
71	2023年5月10日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
72	2023年6月13日	1. 当会からのお知らせ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について ・ 「心理専門職によるひきこもり家族会支援プロジェクト事業報告書」掲載のご案内 ・ 「文部科学省 令和4年度いじめ対策・不登校支援等推進事業報告書—スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究—」を掲載しました 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
73	2023年6月20日	期間限定図書販売のご案内
74	2023年7月13日	1. 当会からのお知らせ ・ 第5期前期役員体制が決まりました。 ・ 「会長就任にあたって」高田 晃（こうだ あきら）会長 ・ 「[心理職のための] ひきこもる人と家族への支援ガイド（改訂第2版）」を掲載しました。 ・ 期間限定図書販売のご案内 ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
75	2023年8月10日	1. 当会からのお知らせ ・ 「SC 及び SSW の常勤化に向けた調査研究」に関するアンケート調査へ協力をお願い ・ 期間限定図書販売のご案内 ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等

No.	発行日	主要掲載記事
76	2023年8月23日	期間限定図書販売のご案内
77	2023年9月5日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください ・「SC及びSSWの常勤化に向けた調査研究」に関するアンケート調査へ協力をお願い ・当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について <p>2. 研修情報等</p> <p>3. トピックス</p> <p>4. 報道情報等</p>
78	2023年10月3日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください ・当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について
79	2023年10月11日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください ・当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について
80	2023年10月19日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください ・当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について <p>2. 研修情報等</p> <p>3. トピックス</p> <p>4. 報道情報等</p>
81	2023年10月25日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください ・令和4年度いじめ対策・不登校支援等推進事業報告書「スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究－SC5,213名の調査結果から－」 ・当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について
82	2023年10月30日	第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)の回答期限を1か月延期します。

No.	発行日	主要掲載記事
83	2023年11月9日	1. 当会からのお知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ 第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)の回答期限を1カ月延期しました ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
84	2023年11月22日	第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)実施中
85	2023年11月27日	第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください
86	2023年12月1日	第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)12月末日まで締切延期
87	2023年12月12日	第9回「臨床心理士の動向調査」再度のお願い
88	2023年12月18日	1. 当会からのお知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ 当会ホームページ全面リニューアルのお知らせ ・ 第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等
89	2023年12月25日	ホームページ全面リニューアルのお知らせ
90	2023年12月26日	第9回「臨床心理士の動向調査」(オンライン調査)にご協力ください
91	2024年1月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページリニューアルのお知らせ ・ ご登録会員情報の確認をお願いします。 ・ 研修会・臨床心理講座の申込方法が変わりました ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について
92	2024年1月15日	期間限定図書販売のご案内
93	2024年1月18日	1. 当会からのお知らせ <ul style="list-style-type: none"> ・ 【災害支援本部】会員の皆様へ ・ 当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について 2. 研修情報等 3. トピックス 4. 報道情報等

No.	発行日	主要掲載記事
94	2024年2月14日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【災害支援本部】石川県奥能登へのスクールカウンセラー派遣について、2月19日（月）から3月22日（金）まで、第3（中部）ブロックを中心とした派遣元府県団体によるリレー方式+派遣SCのバックアップを基本とした形で実施される予定です。 ・当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について <p>2. 研修情報等</p> <p>3. トピックス</p> <p>4. 報道情報等</p>
95	2024年3月8日	<p>期間限定図書販売のご案内</p>
96	2024年3月14日	<p>1. 当会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間限定図書販売のご案内 ・当会主催の研修会・臨床心理講座のオンライン開催について <p>2. 研修情報等</p> <p>3. トピックス</p> <p>4. 報道情報等</p>

7. ホームページの利用状況

(1) 会員専用ページ（MYページ）利用状況

ウェブ登録会員数 21,851名（前年比470名増加）

(2) 『臨床心理士に会うには』都道府県別掲載件数

整理番号	都道府県	掲載件数	整理番号	都道府県	掲載件数
1	北海道	12	25	滋賀	2
2	青森	0	26	京都	23
3	岩手	1	27	大阪	44
4	宮城	2	28	兵庫	33
5	秋田	1	29	奈良	10
6	山形	2	30	和歌山	2
7	福島	3	31	鳥取	0
8	茨城	3	32	島根	2
9	栃木	4	33	岡山	6
10	群馬	8	34	広島	13
11	埼玉	35	35	山口	4
12	千葉	18	36	徳島	2
13	東京	159	37	香川	3
14	神奈川	41	38	愛媛	2
15	山梨	4	39	高知	1
16	長野	6	40	福岡	12
17	新潟	3	41	佐賀	1
18	富山	0	42	長崎	2
19	石川	5	43	熊本	3
20	福井	1	44	大分	2
21	岐阜	3	45	宮崎	1
22	静岡	13	46	鹿児島	3
23	愛知	25	47	沖縄	1
24	三重	1	48	その他	11
				掲載件数	533

(3) ホームページ求人情報掲載状況

(2023年4月～2024年3月掲載)

領域	機関の種類	機関数
保健医療	病院・診療所	198
	精神保健福祉センター・保健所・保健センター	3
	保健医療関係その他	1
福祉	児童福祉施設・機関（児童相談所を含む）	43
	障害者福祉施設・機関	1
	女性福祉施設・機関	1
	福祉関係その他	13
教育	公立教育相談機関・教育委員会	63
	幼稚園・小学校・中学校・高校・予備校	10
	各自治体から派遣SC	10
	教育関係その他	9
大学 研究所	専門学校・短大・大学等（主に教育・研究）	3
	専門学校・短大・大学等（主に相談業務）	85
	研究所・研究機関	1
司法法務 警察 防衛	法務省（矯正保護）関係機関	3
	司法法務警察関係	4
	自衛隊	2
産業労働	独立の健康管理・相談所	6
	産業労働関係	8
私設心理相談	民間心理相談機関	60
その他	その他(被災地支援含む)	34
	合計	558

8. 行政機関、他団体・機関への参画

(1) 行政機関

府 省	組 織	役職等
法 務 省	「社会を明るくする運動」中央推進委員会	委 員
文部科学省	いじめ防止対策協議会	委 員
	不登校に関する調査研究協力者会議	委 員
	特別支援教育ネットワーク推進委員会	構成員
こども家庭庁	こどもの性被害撲滅対策推進協議会	構成団体
厚生労働省	健やか親子21（第2次）推進協議会	参画団体
	【委託事業】「こころの耳」委員会 (受託者：社団法人産業カウンセラー協会)	委 員

(2) 他団体・機関

団 体・機 関		役職等
一般社団法人日本発達障害ネットワーク（JDDnet）		代議員
	多職種連携委員会	理 事
特定非営利活動法人日本障害者協議会（JD）		委 員
	政策委員会	正会員
公益社団法人全国精神保健福祉連合会（みんなネット）		委 員
チーム医療推進協議会（事務局：公益社団法人日本診療放射線技師会）		会 員
被災者健康支援連絡協議会（事務局：公益社団法人日本医師会）		代議員
公益財団法人国際医療技術財団	医療関連職種団体協議会	構成団体
医療技術者団体協議会		構成団体
特定非営利活動法人 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会		賛助会員
一般社団法人東京経営者協会		相談担当者
		セミナー講師
臨床心理士関係三団体（公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会・一般社団法人日本心理臨床学会・当会）	学校臨床心理士ワーキンググループ	委 員
	子育て支援合同委員会	委 員

9. 後援名義使用承認一覧表

No.	主催団体等	日程・名称・テーマ
1	一般社団法人チャイルドライフ	2023. 6. 23 第 203 回国治研セミナー「感覚統合の基礎的な理解に向けて」 2023. 8. 11 第 205 回国治研セミナー「子ども達の生きる力を育む 2023～ソーシャルスキルトレーニング&ペアレントトレーニングの視点から～パート 3」 2023. 7. 10 第 26 回ベルテール教育セミナー「指導者として子どもへ伝えること②」実践指導編 2023. 7. 1 第 204 回国治研セミナー「子どもファーストのコミュニケーション支援と ICT 活用」 2023. 9. 9 第 206 回国治研セミナー「ディスレクシアの子どもが生き生きと輝く支援の在り方」 2023. 10. 1 第 207 回国治研セミナー「保育、発達支援、福祉を担うミライの支援者へ」 2023. 10. 13 第 27 回ベルテール教育セミナー「障害児虐待の防止に向けて」 2023. 10. 29 第 208 回国治研セミナー「子どものココロとカラダを育む余暇活動のあり方」 2023. 11. 19 第 209 回国治研セミナー「TEACCH—現場で取り組む療育、地域で支える支援のあるべき形」 2024. 2. 4 第 211 回国治研セミナー「発達障害の子どもが健やかに成長する食育」 2024. 3. 9 第 212 回国治研セミナー「ユニバーサルデザインによる最適な学習環境作り」 2024. 4. 21 第 213 回国治研セミナー「ワーキングメモリ理論の基礎的理解」 2024. 4. 24 第 31 回ベルテール教育セミナー「発達が気になる子の脳と体をそだてる感覚あそび」
2	きょうされん	2023. 8. 30～31 きょうされん第 46 回全国大会 in 埼玉
3	大阪府臨床心理士会	2023. 8. 6 第 6 回公開講座「<叱る>を手放す心理学—やめられないメカニズムとは？」
4	第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会	2023. 12. 3～5 第 37 回日本エイズ学会学術集会・総会
5	包括システムによる日本ロールシャッハ学会第 28 回東京大会	2023. 7. 29～30 包括システムによる日本ロールシャッハ学会第 28 回東京大会
6	公益社団法人全国被害者支援ネットワーク	2023. 10. 13 全国犯罪被害者支援フォーラム 2023

No.	主催団体等	日程・名称・テーマ
7	一般社団法人日本発達障害ネットワーク	2023. 10. 29 JDDnet セミナー in えひめ 2023 2024. 4. 18～2025. 3. 20 発達障害支援人材育成研修会 2024【春期】【夏期】【秋期】 【冬期】 <共催>
8	集団認知行動療法研究会	2023. 10. 22 第 14 回集団認知行動療法研究会学術総会
9	厚生労働省社会・援護局	2023. 10. 23～29 第 70 回精神保健福祉普及運動及び第 70 回精神保健福祉全国大会
10	一般社団法人日本キャリア・カウンセリング学会	2023. 11. 25～26 日本キャリア・カウンセリング学会第 28 回大会
11	全国クレサラ・生活再建問題対策協議会	2023. 11. 11 第 42 回全国クレサラ・生活再建問題被害者交流集会 in 東京
12	公益社団法人全国精神保健福祉連合会	2023. 10. 14～15 第 15 回全国精神保健福祉家族大会(みんなねっと埼玉大会)
13	第 19 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会	2023. 10. 28～29 第 19 回日本周産期メンタルヘルス学会学術集会
14	GID (性同一性障害) 学会	2024. 3. 16～17 GID(性同一性障害) 学会第 25 回研究大会・総会
15	健康生きがい学会	2023. 10. 14 健康生きがい学会第 13 回大会
16	日本精神障害者リハビリテーション学会第 30 回岡山大会	2023. 12. 2～3 日本精神障害者リハビリテーション学会第 30 回岡山大会
17	特定非営利活動法人地域精神保健福祉機構	2023. 10. 28～29 リカバリー全国フォーラム 2023
18	日本外来臨床精神医学会	2023. 11. 12 第 23 回日本外来臨床精神医学会学術大会
19	公益財団法人日本精神衛生会	2024. 3. 2 メンタルヘルスの集い (第 38 回日本精神保健会議)
20	包括システムによる日本ロールシャッハ学会第 29 回福井大会	2024. 7. 27～28 包括システムによる日本ロールシャッハ学会第 29 回福井大会
21	よこはま乳がん学校	2024. 1. 9～3. 31 第 13 期よこはま乳がん学校
22	一般社団法人日本小児神経学会	2024. 2. 18 第 18 回子どものこころのプライマリケア・セミナー
23	第 26 回日本医療マネジメント学会学術総会	2024. 6. 21～22 第 26 回日本医療マネジメント学会学術総会
24	日本集団精神療法学会第 41 回大会	2024. 3. 16～17 日本集団精神療法学会第 41 回大会
25	日本司法支援センター	2024. 3. 20 ワンストップ相談会
26	公益財団法人こころのバリアフリー研究会	2023. 6. 8～9 第 10 回公益財団法人こころのバリアフリー研究会総会 2023. 6. 10～10. 31 「第 10 回こころのバリアフリー賞」表彰事業
27	摂食障害全国支援センター	2024. 6. 2 世界摂食障害アクションデイ 2024
28	法務省保護局更生保護振興課	2024 年中 第 74 回「社会を明るくする運動」 「保護観察官による更生保護出張講座」

10. 団体会員主催研修会等共催承認一覧

No.	団体会員	日程・名称
1	東京公認心理師協会	2023. 5. 28 2023 年度全体会・地域会
2		2023. 6. 4 子育て支援研修会 1「子育て電話相談の基本」
3		2023. 7. 2 生活とところを支えるテクノロジーを学ぶ
4		2023. 7. 23 相談技能向上のための研修会
5		2023. 8. 6 個性ある心理相談室をはじめ、つづける、つながる
6		2023. 8. 20 災害時に起こりやすい心理的反応と避難所運営ゲームを用いたシミュレーション演習
7		2023. 10. 9 医療保健領域委員会企画 交流研修会
8		2023. 10. 15 大会 2023「つながる」
9		2023. 11. 5 「Psychological First Aid」一日研修
10		2023. 11. 12 事例で学ぶ倫理基礎研修会
11		2023. 11. 19 子どもの性被害とその支援～刑法改正と心理専門職への期待～
12		2024. 1. 28 SC 研修会（入門コース）
13		2024. 2. 4 SC 研修会（入門コース）
14		2024. 2. 18 子どものための心理的応急処置（Psychological First Aid for Children:PFA for Children）1 日研修
15		2024. 3. 17 「ひきこもり支援を考える～医療×心理に何ができるのか～」
16	静岡県公認心理師協会	2023. 6. 25 令和 5 年度総会・大会「これからの心理職の進むべき方向」
17		2023. 7. 16 障害者福祉委員会・児童福祉委員会研修 講義と事例で学ぶ「ふつうの相談」ーケアのための専門知と素人知ー
18		2023. 7. 30 基礎研修 I 「災害支援とストレスケア」
19		2023. 8. 27 教育学校臨床委員会研修
20		2023. 11. 23 シリーズ“私という人間とケースとの繋がりを考える” 3

No.	団体会員	日程・名称
21		2023. 12. 24 産業・組織領域委員会/医療保健領域委員会 主催研修会
22		2024. 1. 14 基礎研修Ⅱ「事例でたどる心理的支援 - 成人編 -」
23		2024. 1. 28 高齢者福祉委員会主催研修
24		2024. 2. 18 意外と身近な被害者支援
25		2024. 2. 23 医療・保健領域・高齢者福祉領域共催研修
26	山口県公認心理師協会	2023. 7. 9 2023 年度第 1 回全体研修会
27		2023. 8. 27 2023 年度第 2 回全体研修会
28		2023. 10. 15 2023 年度第 3 回全体研修会
29		2024. 1. 21 2023 年度 司法矯正・被害者支援領域研修会
30		2024. 3. 3 2023 年度第 4 回全体研修会

11. 代議員会・理事会・常任理事会に関する事項

(1) 代議員会

① 第5期第1回（定時）代議員会

1. 日 時：2023年6月25日（日）午後1時00分～1時30分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 議 案：
 - 第1号議案 2022年度事業報告並びに同決算報告（案）承認の件
 - 第2号議案 理事全員任期満了につき選任の件
 - 第3号議案 監事全員任期満了につき選任の件

本代議員会の開催、運営については、5月14日に開催された第4期後期第8回理事会において審議した結果、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、代議員の健康、安全を最優先として会場に参集することなく、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第51条に定める書面による議決権行使により議案を審議することが決議された。

代議員総数92名のうち、開催当日は、会長、副会長1名（議長）、専務理事、監事1名の計4名が出席し、残る88名は書面により議決権行使がなされた。

なお、議案に対する代議員からの質問等の申し出はなく、出席者の承認者数に議決権行使書の承認者数を加え、賛成多数をもって承認された。

② 第5期（臨時）代議員会

1. 日 時：2023年11月7日（火）午後1時00分～1時30分
2. 場 所：日本臨床心理士会会議室
3. 議 案：
 - 第1号議案 理事1名選任の件

本代議員会の開催、運営については、10月4日に開催された第5期前期第4回理事会において審議した結果、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第51条に定める書面による議決権行使により議案を審議することが決議された。

代議員総数92名のうち、開催当日は、会長、副会長2名（うち1名議長）、専務理事、常務理事3名、監事1名の計8名が出席し、残る84名は書面により議決権行使がなされた。

なお、議案に対する代議員からの質問等の申し出はなく、出席者の承認者数に議決権行使書の承認者数を加え、賛成多数をもって承認された。

(2) 理事会

① 第4期後期第8回理事会

1. 日 時：2023年5月14日（日）午後1時00分～3時00分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
 - 第1号議案 2022年度事業報告（案）承認の件
 - 第2号議案 2022年度決算報告（案）承認の件
 - 第3号議案 第5期第1回（定時）代議員会招集並びに議長選任の件

② 第5期前期第1回理事会

1. 日 時：2023年6月25日（日）午後3時00分～4時10分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 代表理事・会長1名選定の件
第2号議案 代表理事・副会長2名選定の件
第3号議案 専務理事1名及び常務理事3名選定の件

③ 第5期前期第2回理事会

1. 日 時：2023年8月2日（水）午後8時00分～9時00分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 第5期前期委員会委員長並びにプロジェクトチーム代表承認の件

④ 第5期前期第3回理事会

1. 日 時：2023年9月13日（水）午後8時00分～9時00分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 第5期前期委員会並びにプロジェクトチーム委員及び協力委員承認の件

⑤ 第5期前期第4回理事会

1. 日 時：2023年10月4日（水）午後8時30分～9時00分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 代表理事・副会長1名選定の件
第2号議案 第5期臨時代議員会の招集並びに議長選任の件

⑥ 第5期前期第5回理事会

1. 日 時：2023年12月22日（金）午後7時00分～9時00分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 委員会の委員長選任の件
第2号議案 委員会の委員選任の件
第3号議案 支出規程改正の件

⑦ 第5期前期第6回理事会

1. 日 時：2024年3月10日（日）午後6時00分～7時30分
2. 場 所：Web会議システムにより開催
3. 議 案：
第1号議案 2024年度事業計画及び予算承認の件
第2号議案 災害・事故等の支援活動に対する支援金等の支給基準制定の件

第3号議案 第5期第2回（定時）代議員会の招集並びに議長選任の件

第4号議案 私設心理相談領域委員会の委員選任の件

上記のとおり開催し、すべての議案が承認された。

(3) 常任理事会

※すべてWeb会議システムにより開催

- ① 第4期後期第16回常任理事会：2023年4月25日(火)午後7時15分～10時00分
- ② 第5期前期第1回常任理事会：2023年7月19日(水)午後8時00分～9時10分
- ③ 第5期前期第2回常任理事会：2023年9月14日(木)午後8時00分～11時00分
- ④ 第5期前期第3回常任理事会：2023年11月7日(火)午後8時30分～9時30分
- ⑤ 第5期前期第4回常任理事会：2023年11月26日(日)午後5時00分～7時00分
- ⑥ 第5期前期第5回常任理事会：2024年1月25日(木)午後8時00分～11時00分
- ⑦ 第5期前期第6回常任理事会：2024年3月5日(火)午後7時30分～10時30分
- ⑧ 第5期前期第7回常任理事会：2024年3月10日(日)午後7時40分～10時00分

2023 年度決算報告書

貸 借 対 照 表

正味財産増減計算書

財 産 目 録

収 支 計 算 書

貸借対照表

2024年03月31日現在

(単位:円)

科 目	2023年度末	2022年度末	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
(1) 現金預金			
現金	126,018	289,417	▲163,399
普通預金	323,396,743	149,723,883	173,672,860
定期預金	0	100,000,000	▲100,000,000
郵便振替貯金	33,517,192	68,164,180	▲34,646,988
現金預金合計	357,039,953	318,177,480	38,862,473
流動資産合計	357,039,953	318,177,480	38,862,473
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当資産	1,380,000	2,432,000	▲1,052,000
選挙関係引当金積立資産	3,500,000	14,000,000	▲10,500,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	50,000,000	0
特別災害時支援引当資産	68,000,000	73,000,000	▲5,000,000
特定資産合計	122,880,000	139,432,000	▲16,552,000
(2) その他固定資産			
建物付属設備	5,250,000	5,250,000	0
建物減価償却累計額	▲3,517,500	▲3,165,750	▲351,750
器具備品	31,047,741	24,914,071	6,133,670
器具備品減価償却累計額	▲18,159,696	▲12,422,701	▲5,736,995
敷金	8,982,400	8,982,400	0
その他固定資産合計	23,602,945	23,558,020	44,925
固定資産合計	146,482,945	162,990,020	▲16,507,075
資産合計	503,522,898	481,167,500	22,355,398
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,669,626	10,042,078	▲4,372,452
仮受金	13,000	0	13,000
預り金	1,421,725	1,040,073	381,652
流動負債合計	7,104,351	11,082,151	▲3,977,800
負債合計	7,104,351	11,082,151	▲3,977,800
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
民間助成金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち特定資産への充当額)	496,418,547 (122,880,000)	470,085,349 (139,432,000)	26,333,198 (▲16,552,000)
正味財産合計	496,418,547	470,085,349	26,333,198
負債及び正味財産合計	503,522,898	481,167,500	22,355,398

正味財産増減計算書

2023年04月01日から 2024年03月31日まで

(単位:円)

科 目	2023年度	2022年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	169,455,000	175,493,000	▲6,038,000
受取会費計	169,455,000	175,493,000	▲6,038,000
研修会事業収益			
研修会事業収益	6,466,000	9,246,000	▲2,780,000
研修会事業収益計	6,466,000	9,246,000	▲2,780,000
臨床心理講座事業収益			
臨床心理講座収益	8,774,000	6,183,000	2,591,000
臨床心理講座事業収益計	8,774,000	6,183,000	2,591,000
検索システム収益			
検索システム収益	1,704,000	1,690,000	14,000
検索システム収益計	1,704,000	1,690,000	14,000
受取補助金			
受取補助金	2,992,800	6,710,822	▲3,718,022
受取助成金	7,941,873	9,049,942	▲1,108,069
受取補助金計	10,934,673	15,760,764	▲4,826,091
雑収益			
雑収益	4,715,406	4,613,082	102,324
雑収益計	4,715,406	4,613,082	102,324
経常収益計	202,049,079	212,985,846	▲10,936,767
(2) 経常費用			
事業費			
刊行費	13,503,222	11,873,397	1,629,825
委員会活動費	2,851,703	2,682,359	169,344
会議費	310,516	432,739	▲122,223
広報・渉外費	2,673,561	2,842,725	▲169,164
システム管理費	5,828,253	5,675,166	153,087
研修会運営費	1,849,934	2,925,096	▲1,075,162
電話相談事業	6,520,674	7,646,156	▲1,125,482
臨床心理講座運営費	1,627,577	1,880,528	▲252,951
災害支援活動費	229,906	0	229,906
ひきこもり家族会支援	2,310,966	11,161,779	▲8,850,813
SC常勤化調査研究	3,069,873	6,710,822	▲3,640,949
ウクライナ関連支援事業	7,941,873	0	7,941,873
臨床心理士賠償責任保険関係費	24,813,888	24,559,044	254,844
事業費計	73,531,946	78,389,811	▲4,857,865
管理費			
常任理事会	633,742	630,520	3,222
理事会	907,126	905,675	1,451
代議員会	29,290	24,410	4,880
団体会員会	510,090	306,012	204,078
事務局会議	228,477	76,785	151,692
事務委託費	1,258,616	660,160	598,456
施設費	19,479,006	19,417,746	61,260
人件費	47,482,160	44,950,962	2,531,198
通信費	5,591,094	5,552,265	38,829
印刷費	3,458,810	3,662,782	▲203,972
消耗品費	42,295	75,311	▲33,016
備品費	24,087	22,759	1,328
図書費	0	0	0
購読料	38,120	36,391	1,729
雑費	12,061	15,582	▲3,521

正味財産増減計算書

2023年04月01日から 2024年03月31日まで

(単位:円)

科 目	2023年度	2022年度	増減
修繕費	0	132,000	▲132,000
リース料	969,540	0	969,540
選挙関係費支出	14,008,376	0	14,008,376
租税公課	1,422,300	2,126,570	▲704,270
建物設備減価償却費	351,750	351,750	0
器具備品減価償却費	5,736,995	3,074,732	2,662,263
管理費計	102,183,935	82,022,412	20,161,523
経常費用計	175,715,881	160,412,223	15,303,658
評価損益等調整前当期経常増減額	26,333,198	52,573,623	▲26,240,425
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	26,333,198	52,573,623	▲26,240,425
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	26,333,198	52,573,623	▲26,240,425
当期一般正味財産増減額	26,333,198	52,573,623	▲26,240,425
一般正味財産期首残高	470,085,349	417,511,726	52,573,623
一般正味財産期末残高	496,418,547	470,085,349	26,333,198
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取国庫補助金	2,992,800	6,710,822	▲3,718,022
受取民間助成金	7,941,873	9,049,942	▲1,108,069
受取補助金等計	10,934,673	15,760,764	▲4,826,091
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△10,934,673	△15,760,764	4,826,091
一般正味財産への振替額計	△10,934,673	△15,760,764	4,826,091
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	496,418,547	470,085,349	26,333,198

財 産 目 録

2024年03月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金			
現金			126,018
普通預金			323,396,743
みずほ銀行 本郷支店			179,757,714
PayPay銀行			128,409,171
西武信用金庫			15,229,858
郵便振替貯金			33,517,192
東京貯金事務センター			30,990,042
通常貯金			2,527,150
現金預金合計			357,039,953
流動資産合計			357,039,953
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産			1,380,000
選挙関係引当金積立資産			3,500,000
建物付属施設準備資産			50,000,000
特別災害時支援引当資産			68,000,000
特定資産合計			122,880,000
その他固定資産			
建物付属設備			5,250,000
建物減価償却累計額			▲3,517,500
器具備品			31,047,741
器具備品減価償却累計			▲18,159,696
敷金			8,982,400
その他固定資産合計			23,602,945
固定資産合計			146,482,945
資産合計			503,522,898
(流動負債)			
未払金			5,669,626
仮受金			13,000
預り金			1,421,725
税預り金・所得税			90,567
税預り金・謝礼分			424,634
税預り金・地方税			200,200
健康保険料			259,804
厚生年金保険料			446,520
流動負債合計			7,104,351
負債合計			7,104,351
正味財産			496,418,547

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

この財務諸表は、当年度から「公益法人会計基準」(平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ)に準拠し作成している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物、器具備品は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込み方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少高	当期末残高
退職給付引当資産	2,432,000	1,380,000	2,432,000	1,380,000
選挙関係引当資産	14,000,000	3,500,000	14,000,000	3,500,000
建物付属施設準備資産	50,000,000	0	0	50,000,000
特別災害時支援引当資産	73,000,000	0	5,000,000	68,000,000
合計	139,432,000	4,880,000	21,432,000	122,880,000

2. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物付属施設備	5,250,000	3,517,500	1,732,500
什器備品	31,047,741	18,159,696	12,888,045
合計	36,297,741	21,677,196	14,620,545

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載しているため省略する。

2. 引当金明細

引当金は設定していないため、該当なし。

収支計算書

2023年04月01日から 2024年03月31日まで

(単位:円)

科 目	2023年度	2022年度	差異	備考
1 I 事業活動収支の部				
2 1. 事業活動収入				
3 (1) 会費収入				
4 会費収入	169,455,000	175,493,000	▲6,038,000	
5 会費収入計	169,455,000	175,493,000	▲6,038,000	
6 (2) 研修会事業収入				
7 研修会事業収入	6,466,000	9,246,000	▲2,780,000	
8 研修会事業収入計	6,466,000	9,246,000	▲2,780,000	
9 (3) 臨床心理講座事業収入				
10 臨床心理講座収入	8,774,000	6,183,000	2,591,000	
11 臨床心理講座事業収入計	8,774,000	6,183,000	2,591,000	
12 (4) 検索システム収入				
13 検索システム収入	1,704,000	1,690,000	14,000	
14 検索システム収入計	1,704,000	1,690,000	14,000	
15 (5) 補助金収入				
16 民間助成金収入	7,941,873	9,049,942	▲1,108,069	
17 補助金収入	2,992,800	6,710,822	▲3,718,022	
18 補助金収入計	10,934,673	15,760,764	▲4,826,091	
19 (6) 雑収入				
20 雑収入	4,715,406	4,613,082	102,324	
21 雑収入計	4,715,406	4,613,082	102,324	
22 事業活動収入計	202,049,079	212,985,846	▲10,936,767	
23 2. 事業活動支出				
24 (1) 事業費支出				
25 刊行費支出	13,503,222	11,873,397	1,629,825	
26 委員会活動費支出	2,851,703	2,682,359	169,344	
27 会議費支出	310,516	432,739	▲122,223	
28 広報・渉外費支出	2,673,561	2,842,725	▲169,164	
29 システム管理費支出	5,828,253	5,675,166	153,087	
30 研修会運営費支出	1,849,934	2,925,096	▲1,075,162	
31 電話相談事業費支出	6,520,674	7,646,156	▲1,125,482	
32 臨床心理講座費支出	1,627,577	1,880,528	▲252,951	
33 災害支援活動費支出	229,906	0	229,906	
34 ひきこもり家族会支援支出	2,310,966	11,161,779	▲8,850,813	
35 SC常勤化調査研究支出	3,069,873	6,710,822	▲3,640,949	
36 ウクライナ関連支援事業支出	7,941,873	0	7,941,873	
37 臨床心理士賠償責任保険関係費支出	24,813,888	24,559,044	254,844	
38 事業費支出計	73,531,946	78,389,811	▲4,857,865	
39 (2) 管理費支出				
40 会議費支出				
41 常任理事会支出	633,742	630,520	3,222	
42 理事会支出	907,126	905,675	1,451	
43 代議員会支出	29,290	24,410	4,880	
44 団体会員会支出	510,090	306,012	204,078	
45 事務局会議支出	228,477	76,785	151,692	
46 会議費支出計	2,308,725	1,943,402	365,323	
47 事務費支出				
48 事務委託費支出	1,258,616	660,160	598,456	
49 施設費支出	19,479,006	19,417,746	61,260	
50 人件費支出	47,482,160	44,950,962	2,531,198	
51 通信費支出	5,591,094	5,552,265	38,829	
52 印刷費支出	3,458,810	3,662,782	▲203,972	
53 消耗品費支出	42,295	75,311	▲33,016	
54 備品費支出	24,087	22,759	1,328	
55 図書費支出	0	0	0	
56 購読料支出	38,120	36,391	1,729	

収支計算書

2023年04月01日から 2024年03月31日まで

(単位:円)

	科目	2023年度	2022年度	差異	備考
57	雑支出	12,061	15,582	▲3,521	
58	リース料支出	969,540	0	969,540	
59	修繕費支出	0	132,000	▲132,000	
60	事務費支出計	78,355,789	74,525,958	3,829,831	
61	選挙関係費支出				
62	選挙関係費支出	14,008,376	0	14,008,376	
63	選挙関係費支出計	14,008,376	0	14,008,376	
64	租税公課支出				
65	租税公課支出	1,422,300	2,126,570	▲704,270	
66	租税公課支出計	1,422,300	2,126,570	▲704,270	
67	管理費支出計	96,095,190	78,595,930	17,499,260	
68	事業活動支出計	169,627,136	156,985,741	12,641,395	
69	事業活動収支差額	32,421,943	56,000,105	▲23,578,162	
70	II 投資活動収支の部				
71	1. 投資活動収入				
72	(1) 特定資産取崩収入				
73	退職給付引当資産取崩収入	2,432,000	4,124,000	▲1,692,000	
74	選挙関係引当金積立資産取崩収入	14,000,000	0	14,000,000	
75	特別災害時支援引当金取崩収入	5,000,000	0	5,000,000	
76	特定資産取崩収入計	21,432,000	4,124,000	17,308,000	
77	投資活動収入計	21,432,000	4,124,000	17,308,000	
78	2. 投資活動支出				
79	(1) 特定資産取得支出				
80	退職給付引当資産取得支出	1,380,000	1,054,000	326,000	
81	選挙関係引当金繰入支出	3,500,000	3,500,000	0	
82	特別災害時支援引当金繰入支出	0	20,000,000	▲20,000,000	
83	特定資産取得支出計	4,880,000	24,554,000	▲19,674,000	
84	(2) 固定資産取得支出				
85	器具備品購入支出	6,133,670	9,963,360	▲3,829,690	
86	固定資産取得支出計	6,133,670	9,963,360	▲3,829,690	
87	投資活動支出計	11,013,670	34,517,360	▲23,503,690	
88	投資活動収支差額	10,418,330	▲30,393,360	40,811,690	
89	III 財務活動収支の部				
90	1. 財務活動収入				
91	財務活動収入計	0	0	0	
92	2. 財務活動支出				
93	財務活動支出計	0	0	0	
94	財務活動収支差額	0	0	0	
95	IV 予備費支出	—	—	—	
96	当期収支差額	42,840,273	25,606,745	17,233,528	
97	前期繰越収支差額	307,095,329	281,488,584	25,606,745	
98	次期繰越収支差額	349,935,602	307,095,329	42,840,273	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、仮払金、未払金、前受会費、預り金を含めている。

なお、前期末および当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰り越し収支差額に含まれる資産および負債の内訳

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	318,177,480	357,039,953
合 計	318,177,480	357,039,953
未払金	10,042,078	5,669,626
仮受金		13,000
預り金	1,040,073	1,421,725
合 計	11,082,151	7,104,351
次期繰越収支差額	307,095,329	349,935,602

監 査 報 告 書

一般社団法人 日本臨床心理士会

会 長 高 田 晃 様

一般社団法人日本臨床心理士会定款第25条第1項(5)並びに第40条第1項の規定に基づき、2023年度の事業報告及び決算について貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書及び帳簿等の関係書類を監査した結果、適正かつ正確であることを認めます。

2024年5月1日

一般社団法人日本臨床心理士会

監事

片岡 玲子 

監事

鶴 光代 

一般社団法人日本臨床心理士会 第5期前期 役員名簿

(役職別、五十音順)

会 長	高田 晃	宇部フロンティア大学
副 会 長	徳丸 享	立正大学
副 会 長	花村 温子	独立行政法人地域医療機能推進機構 埼玉メディカルセンター
専務理事	奥村 茉莉子	一般社団法人日本臨床心理士会
常務理事	江口 昌克	国立大学法人静岡大学
常務理事	杉江 征	国立大学法人筑波大学
常務理事	野村 れいか	国立大学法人九州大学
理 事	青木 紀久代	白百合心理・社会福祉研究所
理 事	岩倉 拓	あざみ野心理オフィス
理 事	宇田川 一夫	東北福祉大学名誉教授
理 事	金子 周平	国立大学法人九州大学大学院
理 事	川畑 直人	京都文教大学
理 事	倉光 修	放送大学
理 事	小林 哲郎	神戸女学院大学名誉教授
理 事	富永 良喜	丹波教育事務所
理 事	野島 一彦	NPO法人はぐくみ心理相談所
理 事	信田 さよ子	原宿カウンセリングセンター
理 事	平井 正三	御池心理療法センター
理 事	平野 学	平野カウンセリングオフィス
理 事	増井 武士	東亜大学大学院
理 事	山喜 高秀	志學館大学
監 事	片岡 玲子	立正大学
監 事	鶴 光代	淑徳大学

(2024年3月31日現在)

一般社団法人日本臨床心理士会 第5期 代議員名簿

全国区	伊藤 良子		北海道	飯田 昭人		静岡	平岡 篤武	
全国区	岩壁 茂		青森	関谷 道夫		愛知	中西 和紀	
全国区	岩倉 拓	理事	岩手	織田 信男		愛知	早川 すみ江	
全国区	内田 利広		宮城	宇田川一夫	理事	三重	志村 浩二	
全国区	江口 昌克	理事	秋田	佐々木 亮次		滋賀	菅野 道英	
全国区	大山 泰宏		山形	伊藤 洋子		京都	井上 嘉孝	
全国区	岡田 康伸		福島	佐藤 佑貴		京都	小林 哲郎	理事
全国区	奥村 茉莉子	理事	茨城	金丸 隆太		大阪	梨谷 竜也	
全国区	葛西 真記子		栃木	伊藤 幸子		大阪	吉川 征延	
全国区	嘉嶋 領子		群馬	貴船 裕子		兵庫	春原 千夏	
全国区	片岡 玲子	監事	埼玉	須藤 明		兵庫	樋口 純一郎	
全国区	金子 周平	理事	埼玉	花村 温子	理事	奈良	川上 範夫	
全国区	川畑 直人	理事	千葉	野嶋 しのぶ		和歌山	森崎 雅好	
全国区	北川 清一郎		千葉	飛田野 剛		鳥取	林 美奈子	
全国区	窪田 由紀		東京	伊藤 直樹		島根	高橋 悟	
全国区	倉光 修	理事	東京	小林 友也		岡山	進賀 友一	
全国区	黒田 美保		東京	瀧口 俊子		広島	館野 一宏	
全国区	沢宮 容子		東京	中村 留貴子		山口	高田 晃	理事
全国区	杉江 征	理事	東京	淵上 奈緒子		徳島	小倉 正義	
全国区	種市 康太郎		東京	山崎 孝明		香川	豊島 佳津子	
全国区	鶴 光代	監事	東京	吉田 章子		愛媛	福岡 康馬	
全国区	徳丸 享	理事	神奈川	青木 紀久代	理事	高知	池 雅之	
全国区	富永 良喜	理事	神奈川	加藤 志ほ子		福岡	姫島 源太郎	
全国区	野島 一彦	理事	神奈川	堀 恭子		福岡	吉岡 和子	
全国区	信田 さよ子	理事	山梨	吉川 眞理		佐賀	徳永 剛志	
全国区	野村 れいか	理事	長野	常田 修一		長崎	吉田 直樹	
全国区	平井 正三	理事	新潟	小林 勇		熊本	江崎 百美子	
全国区	平野 学	理事	富山	大平 泰子		大分	小野 貴美子	
全国区	福島 哲夫		石川	松本 圭		宮崎	今西 広嗣	
全国区	増井 武士	理事	福井	岸野 徹		鹿児島	山喜 高秀	理事
			岐阜	服部 信太郎		沖縄	平安 良次	

(2024年3月31日現在)